



出雲駅伝

3年ぶり3回目

第20回
出雲全日本大学
選抜駅伝競走

総合10位 (6区間 44.0km 2時間12分32秒)

第20回出雲全日本大学選抜駅伝が平成20年10月13日、島根県出雲市の出雲大社前をスタート、出雲ドームをゴールとする6区間44.0kmのコースで開催された。本学は、苦手とするスピード駅伝で、1区の鈴木忠(2年・法学部)が区間12位と出遅れたが、2区の小林光二(2年・法学部)、3区の三浦隆稔(3年・法学部)が区間1桁順位の力走で8位まで順位を押し上げた。4区では大谷克(2年・法学部)が区間3位の好走で順を走る大学が見える位置で襷を繋いだ。5区の実田雅之(2年・法学部)は攻めの走りで途中6位争いを演じるも後半失速して8位で襷リレー。アンカーの渡部政彦(4年・商学部)は、各大学のエースが集う最終区で健闘するも2つ順位を落とし10位でのゴールとなった。(出場17大学+選抜チーム5チーム、計22チーム)

区間	選手名	記録(区間順位)
1区(8.0km)	鈴木 忠 法学部2年	23分54秒(12位)
2区(5.8km)	小林 光二 法学部2年	17分09秒(8位)
3区(8.5km)	三浦 隆稔 法学部3年	25分53秒(8位)
4区(6.5km)	大谷 克 法学部2年	18分43秒(3位)
5区(5.0km)	真田 雅之 法学部2年	15分19秒(10位)
6区(10.2km)	渡部 政彦 商学部4年	31分29秒(12位)



全日本大学駅伝

2年連続5回目

第40回
全日本大学駅伝
対校選手権大会

総合5位 (8区間 106.8km 5時間20分55秒)

秩父宮賜第40回全日本大学駅伝対校選手権記念大会が平成20年11月2日、愛知県名古屋市熱田区神宮西門前をスタート、三重県伊勢市の伊勢神宮内宮宇治橋前をゴールとする8区間106.8kmのコースで開催された。本学は、1区の鈴木忠(2年・法学部)が終盤まで先頭争いに食らいついて6位と粘り、2区ではエースの木原真佐人(4年・商学部)が区間トップタイの力走で4位に浮上すると、3区の小林光二(2年・法学部)、4区の堀宏和(4年・商学部)も安定した走りで4位をキープした。5区では大野紘崇(3年・法学部)が3位東洋大との差を11秒とする区間2位の好走を見た。さらに、6区大谷克(2年・法学部)は東洋大をかかわして3位に浮上し、7区寺田啓志(4年・商学部)も3位を死守しアンカー渡部政彦(4年・商学部)へ襷をリレーした。渡部は、山梨学院大、東洋大に抜かれはしたが、チーム過去最高順位となる5位でのゴールとなった。(出場25大学)

区間	選手名	記録(区間順位)
1区(14.6km)	鈴木 忠 法学部2年	43分32秒(6位)
2区(13.2km)	木原 真佐人 商学部4年	37分44秒(1位)
3区(9.5km)	小林 光二 法学部2年	27分58秒(5位)
4区(14.0km)	堀 宏和 商学部4年	41分59秒(9位)
5区(11.6km)	大野 紘崇 法学部3年	34分47秒(2位)
6区(12.3km)	大谷 克 法学部2年	36分59秒(5位)
7区(11.9km)	寺田 啓志 商学部4年	36分10秒(6位)
8区(19.7km)	渡部 政彦 商学部4年	1時間01分46秒(11位)



学生三大駅伝 出場決定!!

10.12
出雲駅伝
2年連続
4回目
第21回出雲全日本大学選抜駅伝競走

出場21チーム
区間: 44.0km (全6区間)



11.1
全日本大学駅伝
3年連続6回目
第41回全日本大学駅伝対校選手権大会

出場25チーム
区間: 106.8km (全8区間)



2010.1.2-3
箱根駅伝
8年連続
11回目
第86回東京箱根間往復大学駅伝競走

出場20チーム
区間: 217.9km (全10区間)



皆さまざまのご声援、よろしくお願いたします!

中央学院大学 陸上競技部

指導
スタッフ

監督: 川崎 勇二(法学部准教授)
コーチ: 尾上 岳史/千葉 敬弘(駅伝部コーチ)
青木 栄/町田 次雄(駅伝部学外コーチ)

選手名	学部	出身地	出身高校	選手名	学部	出身地	出身高校
4年 主将 辻 茂樹	商学部	大阪府	北陽高等学校	鈴木 忠	法学部	千葉県	拓大紅陵高等学校
副将 木原 真佐人	商学部	兵庫県	報徳学園高等学校	大谷 克	法学部	千葉県	沼南高等学校
寮長 寺田 啓志	商学部	茨城県	水城高等学校	野間 将太	商学部	京都府	福知山成美高等学校
副寮長 池脇 信也	商学部	鹿児島県	鹿児島商業高等学校	藤原 秀明	法学部	兵庫県	飾磨工業高等学校
堀 宏和	商学部	宮城県	利府高等学校	村田 耕介	法学部	京都府	桂高等学校
渡部 政彦	商学部	大分県	竹田高等学校	真田 雅之	法学部	兵庫県	報徳学園高等学校
染谷 朋弘	商学部	千葉県	沼南高等学校	大滝 健司	法学部	千葉県	千葉商科大附属高等学校
主務 林 将幸	法学部	栃木県	作新学院高等学校	中村 翔也	法学部	鳥取県	鳥取城北高等学校
副務 今井 達弥	商学部	山形県	東海大山形高等学校	中島 俊貴	法学部	神奈川県	秦野高等学校
				日野 裕也	商学部	山形県	東海大山形高等学校
3年 大野 紘崇	法学部	千葉県	拓大紅陵高等学校	沖坂 佐鶴	商学部	千葉県	東亜学園高等学校
三浦 隆稔	法学部	宮城県	利府高等学校	殿島 竜介	法学部	愛知県	愛工大名電高等学校
木之下 翔也	法学部	鹿児島県	鹿児島商業高等学校	坪田 洋介	法学部	兵庫県	須磨友が丘高等学校
渡部 恭平	法学部	秋田県	秋田中央高等学校	西村 裕太	法学部	千葉県	拓大紅陵高等学校
田口 優	法学部	兵庫県	加古川西高等学校				
小嶋 彰	法学部	京都府	福知山成美高等学校	1年 本野 裕之	法学部	大阪府	北陽高等学校
野中 洋輝	法学部	大分県	大分西高等学校	塚本 千仁	法学部	千葉県	佐原白楊高等学校
磯 将弥	法学部	栃木県	那須拓陽高等学校	福田 直人	法学部	兵庫県	明石南高等学校
遠藤 康平	法学部	神奈川県	横浜高等学校	富山 利己	法学部	茨城県	日立工業高等学校
副務 岩井 宏道	法学部	京都府	沼南高等学校	渡邊 嵩仁	法学部	京都府	福知山成美高等学校
副務 穂積 健	商学部	福島県	安達高等学校	菅野 陽平	商学部	茨城県	水城高等学校
				太田 成紀	法学部	福島県	保原高等学校
2年 仁部 幸太	法学部	千葉県	富里高等学校	鶴澤 聖平	商学部	千葉県	茂原樟陽高等学校
小林 光二	法学部	栃木県	那須拓陽高等学校	山本 真之	法学部	徳島県	美馬商業高等学校

中央学院大学 | 〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451 | http://www.cgu.ac.jp/
TEL: 04-7183-6501 (代)



学生三大駅伝 出場



出雲駅伝・全日本大学駅伝・箱根駅伝



ご声援
ありがとう
ございました!

中央学院大学 2009

三大駅伝 結果報告

箱根駅伝

7年連続10回目

第85回東京箱根間往復大学駅伝競走



皆様のご支援を背に総合第5位、そして、2年連続シード権獲得!

学長 椎名 市郎

平素、本学陸上競技部に物心両面でのご支援を賜り、かつ、今年の箱根駅伝での本学選手へのご声援、心より御礼申し上げます。

選手諸君は、昨年の第84回箱根駅伝総合第3位を自信と励みにして、川崎勇二監督、尾上岳史・千葉敬弘コーチや関係者の指導のもとに、この一年、怪我やスランプと戦いながらも厳しい練習に耐えて、本番では実にさわやかな全力の走りを見せてくれました。辻茂樹主将(4年)は、「反骨精神の走り」と称しましたが、マスコミなどに注目されている選手やチームを相手に、最後まで戦い抜いた今回は、本学の「反骨駅伝力」を実感させてくれました。

本学の選手諸君はどちらかといえば天性の素質に恵まれた者は少なく、ただ、走るのが好きで黙々と朝に夕に汗をかき、1秒でも早くチームメイトにたすきを繋ぎたい一心で勝ち取った2年連続のシード権です。来年は、8回連続、通算11回出場となります。皆様には今までのご支援に対して重ねて御礼を申し上げますとともに、夢や感動を与えてくれる陸上部に、引き続きご声援を賜りますようお願い申し上げます。



選手全員の思いが総合5位を引き寄せた

陸上競技部 監督 川崎 勇二

ご声援ありがとうございました。昨年の総合3位には及びませんでしたが、総合5位という成績を取ることができましたのも、皆様方のご声援のお陰とっております。ありがとうございました。

この1年間は、私も、チームも非常にきつかったです。前回大会の結果は、勇気と励みにもなりましたが、大きなプレッシャーにもなりました。加えて、駅伝シーズンとなる秋から箱根駅伝の当日まで、故障等のトラブルが相次ぎました。その中で何とか5位という結果を残せたのは、選手全員にチームを思う気持ちがあったからだと思います。しかしながら、今大会は、2年連続のシード権獲得はしたものの、何か不完全燃焼という感じがする箱根駅伝でした。

次回大会は、今年の4年生が抜け、エース不在の厳しい大会となります。初出場の時の気持ちで、新たなチームを作っていきたいと思えます。今後とも変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。

第85回大会 総合成績					
総合順位	大学名	総合記録	総合順位	大学名	総合記録
1位	東洋大学	11時間09分14秒	13位	駒澤大学	11時間20分20秒
2位	早稲田大学	11時間09分55秒	14位	専修大学	11時間24分59秒
3位	日本体育大学	11時間13分05秒	15位	神奈川大学	11時間25分07秒
4位	大東文化大学	11時間17分48秒	16位	亜細亜大学	11時間25分39秒
5位	中央学院大学	11時間17分50秒	17位	拓殖大学	11時間26分31秒
6位	山梨学院大学	11時間17分56秒	18位	東海大学	11時間28分04秒
7位	日本大学	11時間18分14秒	19位	順天堂大学	11時間28分09秒
8位	明治大学	11時間18分16秒	20位	帝京大学	11時間28分21秒
9位	関東学連選抜	11時間18分20秒	21位	上武大学	11時間28分54秒
10位	中央大学	11時間18分33秒	22位	青山学院大学	11時間29分00秒
11位	国士館大学	11時間19分07秒	棄権	城西大学	—
12位	東京農業大学	11時間19分17秒			

中央学院大学 選手成績		
区間	選手名	記録(区間順位)
1区(21.4 km)	鈴木 忠 法学部2年	1時間05分19秒(11位)
2区(23.2 km)	木原 真佐人 商学部4年	1時間08分22秒(3位)
3区(21.5 km)	小林 光二 法学部2年	1時間05分04秒(15位)
4区(18.5 km)	大谷 克 法学部2年	56分32秒(8位)
5区(23.4 km)	辻 茂樹 商学部4年	1時間20分28秒(4位)
6区(20.8 km)	渡部 政彦 商学部4年	1時間00分15秒(8位)
7区(21.3 km)	三浦 隆稔 法学部3年	1時間06分33秒(14位)
8区(21.5 km)	大野 紘崇 法学部3年	1時間08分51秒(17位)
9区(23.2 km)	堀 宏和 商学部4年	1時間13分02秒(16位)
10区(23.1 km)	木之下 翔太 法学部3年	1時間13分24秒(14位)

全学の心を一つにし 夢を繋いだ襷



4年生の活躍で 総合5位!

第85回東京箱根間往復大学駅伝競走(大手町~芦ノ湖往復10区間217.9km)は、85回記念として出場枠が3枠増加され、大会シード校9校、予選会通過13校に関東学連選抜を加えた23チームが出場して2009年1月2-3日に開催された。各区分で繰り上げられた上位争いのデッドヒート、前年優勝校を含む箱根常連校のシード落ちなど、まさに“戦国駅伝”と呼ぶにふさわしい大会となった。

前回大会で過去最高順位となる総合3位に躍進し、7年連続10回目の出場となった本学は、大きな期待を担って箱根に挑んだ。エース木原をはじめとする4年生がレースを引っ張る形となり、往路は上位をキープして4位でゴール。復路は終盤で区間2桁順位が続く苦しい展開となったが、往路の頑張りが功を奏して総合5位。箱根駅伝の新時代を担う常連校として、8年連続出場となる来年へ夢を繋いだ。

8人抜きの木原の快走で 往路4位

1区の鈴木は転倒にもひるまず、先頭から31秒差の11位で2区へ襷をリレーした。各校のエースが集う2区の木原は、一気に2位まで順位を押し上げ、中継所直前で抜かれはしたが8人抜きの区間3位(日本人トップ)の快走で、3位での襷渡しとなった。3区小林、4区大谷と、各大学とも順位が激しく入れ替わる中、堅実な走りをし、6位で5区へと襷を繋いだ。箱根の山へ挑むのは初めての主将の辻だったが、区間4位となる気迫の走りでも順位を2つ押し上げ、往路は過去最高順位となる4位でのゴールとなった。

往路

堅実な走り で 総合5位をキープ

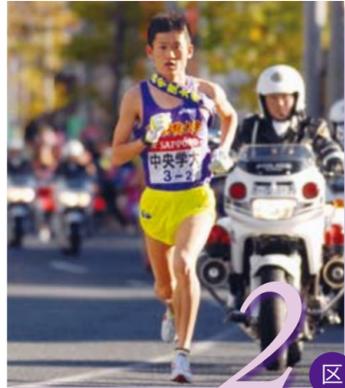
2年連続で山下りの6区を任された渡部は、経験を生かし、快調な走りでも順位を上げて3位で7区の三浦へ襷を繋いだ。7区の三浦は中継所直前で競り合いを演じるも1つ順位を下げ、4位で襷を繋いだ。8区の大野は思うようにペースを上げることが出来ず苦しい走りとなり、1つ順位を落とし、9区堀へ襷を繋いだ。9区の堀は、3校による4位争いから中継所前に抜け出し1つ順位を上げた。アンカーの木之下は堅実な走りでも大手町のゴールを目指したが、ゴール直前での競り合いでかわされ、総合5位でのゴールとなった。

復路



鈴木 忠

法学部2年 (千葉・拓大紅陵)



木原 真佐人

商学部4年 (兵庫・報徳学園)



小林 光二

法学部2年 (栃木・那須拓陽)



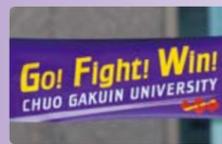
大谷 克

法学部2年 (千葉・沼南)



辻 茂樹

商学部4年 (大阪・北陽)



渡部 政彦

商学部4年 (大分・竹田)



三浦 隆稔

法学部3年 (宮城・利府)



大野 紘崇

法学部3年 (千葉・拓大紅陵)



堀 宏和

商学部4年 (宮城・利府)



木之下 翔太

法学部3年 (鹿児島・鹿児島商業)



一番きつい区間でしたが、5区を走ることが念願だったことに加え、沿道の声援が励みになって、楽しく走ることができました。

往路での4年生2人のがんばりが励みになって、監督の指示どおり順位を上げて襷を渡すことができました。来年の後輩に期待しています。

チームのための走りができなくて責任を感じています。来年は最上級生としてチームを引っ張っていけるよう努力したいと思います。

初出場で箱根駅伝の難しさや厳しさをもっと感じました。緊張して走りましたが沿道の応援がとてうれしく励みになりました。

自分の走りができず、箱根の難しさを今一度実感しました。来年は応援、サポートでチームに貢献したいと思っています。